

1. 概要

①目的
 持続可能で利便性の高い公共交通網の整備を形成するため、中心部と各地域拠点を結ぶ基幹公共交通軸の特性に応じた機能強化及び各軸上の乗換拠点における各交通手段間の連携にハードとソフトの両面から取り組むことで、円滑に移動できる公共交通ネットワークを構築するもの。

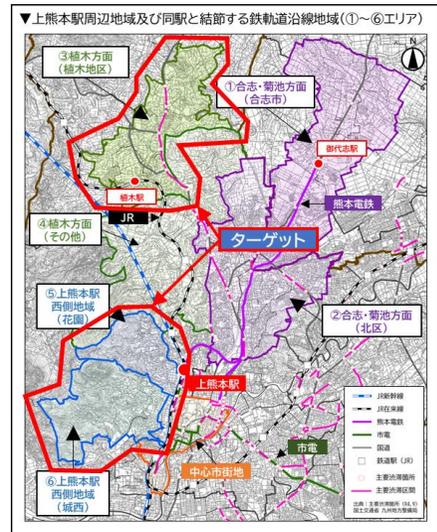
②現状・課題

- 公共交通軸上の乗換拠点において、利用者が来た電車ですぐ乗れない等、交通機能が飽和状態の箇所がある。
- そのような中、空港アクセス鉄道の整備やTSMCの熊本進出など熊本都市圏の経済状況の変化に伴う人流の変化が見込まれる。
- 熊本市の渋滞は、3大都市圏にある東京都都区、大阪市、名古屋市を除いた政令指定都市の中でワースト1であり、これ以上交通渋滞を悪化させないよう、今後公共交通が果たすべき役割はより一層重要となるため、利便性の向上等に取り組んでいく必要がある。

乗換拠点の利便性向上により公共交通の利用促進を図る

2. 今年度の検討状況（協議内容）

①上熊本駅周辺交通結節点機能強化について
 上熊本駅は、JR鹿兒島本線と熊本電鉄菊池線、市電、路線バス、シェアサイクル、タクシーの公共交通機関が接続する唯一の交通結節点であり、県内各方面へのアクセスが可能なり利便性及びポテンシャルの高い交通結節点
 ⇒ 上熊本駅周辺の現状と課題の分析を行い、上熊本駅のポテンシャル発揮（公共交通への転換）に繋がる交通結節点機能強化対策を検討



対策の実施に向け、コミュニティ交通部と連携

ターゲット：③植木方面（植木地区）

<現状>

- 上熊本駅と結節するJR植木駅には、ゆうゆうバスが結節しているが、通勤通学に適した時間帯の運行が少ない
- JR植木利用者の駅端末利用交通手段分担率は、約4割が自動車利用であり、公共交通による駅へのアクセス手段に乏しいため、朝夕の送迎により駅周辺で混雑が発生している

<対策>

- AIデマンドタクシー等により、JRへの接続を強化し、渋滞緩和や公共交通利用促進を図る

ターゲット：⑤上熊本駅西側地域（花園）、⑥〃（城西）

<現状>

- 上熊本駅西側地域は、路線バスが運行しているが、上熊本駅を経由していない。
- 都市計画道路開通により西口駅前広場へのアクセス性が向上したが、上熊本駅にアクセスする公共交通機関はない。
- 現在、上熊本・池田地区において(株)タクシーによるグリーンスローモビリティを活用したAIデマンドタクシー導入の社会実験「のーと上熊本」を実施中。

<対策>

- 上熊本駅周辺地区であるにも関わらず、同駅へのアクセスが困難な地区にAIデマンドタクシー等の導入を図り、結節を強化

②健康町電停周辺交通結節点機能強化について



市電延伸事業と合わせた結節機能強化を検討

今後、市電延伸事業の検討と合わせ、パークアンドライド・サイクルアンドライドや新設電停と周辺地域を結ぶコミュニティ交通導入等を検討

③新水前寺駅周辺交通結節点機能強化について



新水前寺駅高架下周辺へのバス停新設を検討

<現状の問題点>

- JR新水前寺駅と結節する新水前寺駅前電停において、利用者の混雑が発生
- ホームに人が集中し、ベデストリアンデッキや電停の外まで人が並ぶ状況も発生
- このままでは、電車通りを通行する車両や軌道を走る電車と接触する危険性もあり、大変危険な状況
- また、TSMC進出や令和16年度（2034年度）末の空港アクセス鉄道開業等により、JR豊肥本線の需要増が見込まれ、更なる混雑が想定

JR新水前寺駅高架下周辺へのバス停新設を検討
 ※関係者協議中

3. 令和6年度の取組

- ①上熊本駅周辺交通結節点機能強化について
 令和6年度は植木地域において新たにAIデマンドタクシーの運行を開始する予定。コミュニティ交通部において、引き続き、AIデマンドタクシーの本格導入及び課題解決に向けた議論を進めていく。
- ②健康町電停周辺交通結節点機能強化について
 市電延伸事業の検討の進捗と合わせ、公共交通の利用促進に向けた検討を進める。
- ③新水前寺駅周辺交通結節点機能強化について
 新水前寺駅高架下周辺へのバス停新設の実現に向け、引き続き関係者との協議を進める。